

学校だより

平成27年2月13日

NO. 8

辰野西小学校

校長講話 (H27.2.10)

おはようございます。

今朝は校長先生の話じゃなくて、辰野西小学校のことをよく知っている博士からお話をしてもらおうと思っています。今日は『辰西博士のお話』。辰西博士は、白い服を着ているでしょ。眼鏡をかけているでしょ。辰野西小学校のことをよく知っている物知りの人なんです。うちの学校で言うと、理科の北原先生みたいな感じ。白い服を着ているので、本当は北原先生に話をしてもらおうと思ったんですが、代わりに先生が……(白衣を着る)……。代わりにこんな服を着てお話したいと思います。

辰西博士からクイズを出します。ただし、6年生は知っているの、6年生は答えてはいけません。(板を取り出す)ここに板があります。

この板は何だか分かりますか？どこの板か知っていますか？実は、これ学校のどこかにある板なんです。どこだと思

う？ヒントです。この中に写っています。運動会の時の写真ですけど。実はこの中のこの体育館、そう、第2体育館の板なんです。第2体育館はみんなの運動会の様子を見てくれています。みんなをずっと見守ってくれたんだよ。その中のどこかって言うと、周りにあるこの

板なんです。でも、今、2体ってどうなっている

か知ってる？皆さんも廊下から見たと思うんですが、こんな具合に大きな機械で壊して、新しい体育館を作ってくれています。今どうなっているかって言うと、全く第2体育館の形はなくなっています。

ここで、辰西博士からクイズを出します。この第2体育館は、いつできて何歳だったかわかりますか？ヒントを出します。この体育館と同じ年の先生が何人かいます。一人だけ紹介します。この先生と同じ年なんです。実は〇〇先生と同じ年なんです。〇〇先生と同じ年って言うことは、第2体育館は47歳。校長先生の47年前は、小学校の4年生くらいでした。その頃にできた体育館でした。ここの校舎も同じ頃できたんですけど、みんなの校舎は、中を新しく『改修』って言って、きれいにしましたけど、第2体育館は、ほとんど47年前と同じだったので、古くなってしまったって言うわけです。

もう一つ質問。47歳って言うことは、47年間あの体育館はあったんだけど、あの体育館を使った小学生、みんなたちも入ると



辰西博士の話

第2体育館



みんなを見守ってくれていた



辰西博士



47年
何人の小学生使った
じゃるか



6996人
約 7000人



何人くらいになるでしょう？ととても大勢で、だいたい7000人もの方があの体育館を使っています。それ以外の大人の人も使っているの、それ以上になると思います。

今から47年前、小学校6年生が書いた作文がありました。今、60歳くらいの男の人の作文です。

「機械の雑音と共に少しずつ形ができてはじめて。学校に行くたびにつくられていくのがよく分かる。体育の時間に木を運んだり片付けたりした。クレーンで木や鉄の棒を運ばんした。先生が、『何百万という多額のお金を工事の人に払った』と教えてくださった。雨が降ると雨がもうった。風が吹くと窓が割れた。新しい校舎や体育館にお金を使っているの、なおす金がなく、画用紙をびょうでとめた。」

どういうことかって言うと、みんなたちが勉強している教室が古かったので、雨がもうったり、風が吹くと窓が割れちゃったんですって。新しい体育館とか作っているの、お金がないの、画用紙を窓ガラスのかわりにとめたりしたんだって。そんな風に我慢しながら学校を使っただって。もう一つ作文があります。「ぼくたちは、新しい校舎や体育館に入れるか分からない。弟は4年なのでは入れる。いいなあと思う。僕は2年遅れで生まれればよかったと思う。建築のおじさん達は、ぼくが寒中休みでこたつにあたっているときも、風のピューピュー吹く寒い日も一生懸命がんばって作っている。ものを作る仕事はととても大変な立派な仕事だと思う。」



って書いています。今から47年前、そんな思いで、あの体育館ができるのを見ていたようです。でも、そんな思いで見ていた体育館は、今は…。みんなを見守ってくれた体育館なんです、今はなくなってしまっています。辰西博士も「わしもさびしい」って言っています。

でも、辰西博士は、こんなことも言っています。「うれしいこともあるんじゃ。」この写真わかりますか？図工室で6年の皆さんが、その第2体育館の板をいただいて、うんと固いんですけど、それを切って、こんな風に磨いてくれています。さあ、何するかわかりますか？これの作文があるから、ちょっと見てね。

「2体の壁の板を切り分ける作業をしました。板はととても大きく作業は大変でした。それでも、2体に感謝の気持ちをこめて作業をしました。板を一つの思い出にして、みんなに2体を覚えてもらえるようにしたいです。」

どういうことかって言うと、今の6年生がこの板を、うんと固いんですけど、切って磨いて自分たちだけじゃなくて、できたら全校の皆さんに配りたいって、一生懸命作業をしてくれています。ああ、すごいことだなあと思ったら、そんな大したことじゃないですって謙遜もしてくれましたが、一生懸命作ってくれています。みんなに2体を忘れないでいて欲しいっていう気持ちで作ってくれています。

辰西博士は「感謝したいもんじゃ」って言っていますけど、何に感謝したいかって言うと、一つは、7000人もの人を見守ってくれた第2体育館に感謝したい。もう一つは、学校を引っ張ってきてくれた6年生が、最後の思い出にこんな作業をしてくれているのに感謝したいと思います。それともう一つ。新しい体育館を作ってくれるのは、辰野町の町の皆さん、それから、工事の皆さん。今、町でも、なかなか新しいものを作るお金がないんだけど、みんなたちのために新しい体育館を作ってくれています。ですので、町の皆さんとか工事の人にも感謝したいと思っています。新しい体育館ができるのは、来年になります。今の予定だと、来年の今くらいの時期かなと言う話をしています。ですから、体育館が使えなかったり、工事で少し大変なところもあるかも知れませんが、新しい体育館ができるのを楽しみにしててください。それから、2体とか、6年生とか、辰野町の皆さんに、ありがたいの気持ちを持ってください。これでお話を終わります。

